

実験結果を発表する松江北高の生徒



## 実験結果分かりやすく

松江でサイエンスカフェ  
高校生、研究者が解説

科学の興味を誘う「サイエンス・カフェ in 松江」が16日、松江市殿町のカラコロ工房であった。松江北高校（松江市奥谷町）の1年生や大学の研究者などが成果や実験結果を分かりやすく解説し、高校生や市民が耳を傾けた。

NPO法人・サイエンスステーションが企画。松江北高理数科の男子生徒7人は、納豆のねばねば成分のポリグルタミン酸で水質浄

化を図る実験結果を発表した。納豆に薬品を入れてねばねば成分を抽出する実験と、粘土水にねばねば成分を加えて混ぜる実験をパワーポイントなどを使って解説。ピーカーの中

で粘土水の沈殿が起きる画像が映ると、会場から驚きの声が上がった。研究者ら3人から幾何学や電子機器について講義もあった。講義を聴いた松江北高の中村華子さん（16）は「写真などもあり、授業よりも楽しかった」と話した。

で粘土水の沈殿が起きる画像が映ると、会場から驚きの声が上がった。